



概要

滝川市は、中空知地域の商業・流通の中心地として発展してきたが、人口の減少やマイカーの普及により、市内路線バスのいずれも利用は低迷しており、不採算の状況が続いている。このため、高齢者をはじめとする市民の移動手段の確保を図るため、市内路線バスの利用者増加策、中心市街地におけるコミュニティバス・乗合タクシーの導入、スクールバス等への一般住民の混乗等の調査検討を実施する。

地域公共交通の現況

- ・JR函館本線、根室本線(滝川駅、江部乙駅、東滝川駅)
- ・北海道中央バス(株)、空知中央バス(株)
(市内循環線2路線、郊外4路線)
- ・タクシー会社(4社)
- ・スクールバス(4本)、自動車学校・短期大学の送迎バス

地域公共交通の課題

- ・市内路線バスの利用低迷
- ・スクールバス等との連携
- ・高齢者の通院・買物等の移動手段の確保
- ・交通不便・空白地域の利便性の確保

調査の主な内容

- ・現況交通実態調査
- ・利用者ニーズ把握調査(アンケート調査)
- ・市内路線バスの活性化策の検討
- ・市内路線バスと他の市内交通との連携による活性化策の検討

策定する地域公共交通総合連携計画の構想(予定)

- ・市内路線バスの利用者増加策の検討
- ・中心市街地におけるコミュニティバス・乗合タクシーの導入検討
- ・スクールバス等への一般市民混乗



滝川市地域公共交通活性化協議会 調査事業の取組状況

主な調査の実施内容

協議会開催状況

2回開催

分科会等開催状況

分科会2回開催

左記開催状況は
H21.1.30現在

現況交通実態調査

- ・各種統計資料等により滝川市の概要、公共交通実態調査を実施。(H20.7~8月)
- ・交通事業者等、商業団体、バス利用者を対象に運行・利用状況、連携の方向性、課題についてヒアリングを実施。(H20.9~12月)
- ・利用者ニーズ把握調査(アンケート調査)
- ・市内のバス8路線84便を対象に、休日・平日の利用目的・乗降停留所等バス利用実態調査を実施。(H20.10月、対象1,244人)
- ・市内小学生(2,216人)、中学生(1,114人)を対象に、路線バスの乗車経験、利用目的等についてアンケートを実施。(H20.11月)
- ・市内路線バスの活性化策・市内路線バスと他の市内交通との連携による活性化策の検討
- ・各調査の結果を踏まえ、運行方法の改善、利用者利便・サービスの向上、利用促進、路線バス空白エリアでのスクールバス・タクシーとの連携の観点により、10の具体的事業案を設定のうえ、各分科会・協議会において検討を実施。(H20.11、12月)

予定している連携計画の内容

路線バス利用促進の取組(実施主体:商店街振興組合連合会・町内会連合会連絡協議会ほか、実施時期:H21~)
・利用促進週間の設定、地域懇談会の開催、乗車体験&バスを考える授業の実施、乗降サポートボランティアを導入。

市内循環バスの利便性・満足度の向上(実施主体:中央バス、実施時期:H21~)
・中心市街地エリアにおいて、利便性のよい位置にバス停を再配置し、市内循環バスの実証運行を実施。

乗合タクシー実証運行、路線バス・乗合タクシー連携事業(実施主体:空知ハイヤー協会・中央バスほか、実施時期:H21~)
・高齢者等を対象とした買い物・通院タクシー、路線バスを補完する深夜乗合タクシーの実証運行を実施。
・バス空白地帯の住民を対象にしたタクシー&バスチケットの導入。

スクールバスへの混乗サービス(実施主体:スクールバス受託事業者、実施時期:H22~)
・スクールバスによる幹線や最寄りバス停までの乗車サービスの導入。

自己評価のポイント

利用実態調査、アンケート調査等により必要な調査を行うとともに、法定協議会において分科会の開催も行いながら合意形成を図っている。

二次評価のポイント

一部の事業についてはさらに検討の具体化を進めるようアドバイスする。